

鹿児島大学の教育研究上の目的

鹿児島大学の学部・研究科ごとに、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を下記のとおり定めています。

学部	学科・コース等	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
法文学部		文系総合学部として、人文社会科学に関する基礎的体系的な知識の修得と、学問分野を横断した幅広い知識の修得を通して、人と社会、人と文化に関する論理的・科学的な思考力・判断力・表現力を育み、幅広い視野の下で身につけた人文社会科学の素養を地域の問題発見と課題解決に活用できる人材を育成することを目的とする。
	法経社会学科	社会科学に関する基礎的体系的な知識の修得と、学問分野を横断した幅広い知識の修得を通して、人と社会に関する論理的・科学的な思考力・判断力・表現力を育み、幅広い視野の下で身につけた社会科学の素養を地域の問題発見と課題解決に積極的に活用できる人材を育成することを目的とする。
	人文学科	人文学に関する基礎的体系的な知識の修得と、学問を横断した幅広い知識の修得を通して、人と文化に関する論理的・科学的な思考力・判断力・表現力を育み、幅広い視野の下で身につけた人文学の素養を地域の問題発見と課題解決に活用できる人材を養成することを目的とする。
教育学部		現実の教育課題の解決はもとより、現在そして未来の「教育」に貢献できる優れた人材の養成を目的とする。
理学部		自然に潜む真理を探究し、物事の原理を基礎から理解し、「理学」を楽しめる学生を育成することを目的とする。
医学部		全人的医療を実践しうる医療人の育成並びに独創的研究を行える研究者及び優れた指導者の育成を目的とする。
	医学科	人を尊重し、人と地域社会のため最善の医療を実践する優れた臨床医並びに科学的思考力を有し、生涯学習し、医学、医療及び社会の発展に貢献する医師及び医学研究者の育成を目的とする。
	保健学科	豊かな倫理性を背景として、科学的思考力と他者に対する想像力に富み、患者と地域社会に貢献できる医療を実践するための思考力、判断力及び積極的実行力を有する看護師、保健師、理学療法士及び作業療法士の養成を目的とする。
歯学部		「歯科医療人である前に良識豊かな人間であれ」という理念のもとに、次に掲げる教育目標を達成する。 (1) 全人的歯科医療を実践しうる歯学分野における幅広い知識と創造性に富む歯科医師及び歯科医学教育者・研究者の育成 (2) 地域医療に貢献しうる幅広い識見と人間性豊かな使命感にあふれる歯科医師及び歯科医学教育者・研究者の育成 (3) 国際社会においても卓越した貢献をなしうる歯科医師及び歯科医学教育者・研究者の育成
工学部		工学を支える新技術を創成でき、国際的視野を持った技術者の育成機関となる努力を続け、広い視野と工学的デザイン能力を培う教育を推進し、科学技術の発展に寄与するための研究活動に取り組むこと、さらに、地域社会との連携に励み、世界に開かれた学部であることを目的とする。 学部の目的を達成するため、次に掲げる人材の育成を目標とする。 (1) 倫理観、価値観に対する理解を深め、多様な文化・社会・自然の係わり・工学関連分野全体を総合的に把握し、専門領域を超える諸課題に挑戦することができる能力を有する人材 (2) 工学基盤及び各専門分野における体系的学修、分野を横断する学際的学修により、知識活用力、論理的思考力、課題探究力、問題解決力、情報発信力、コミュニケーション力、生涯学習力、創造的思考力、就業力等を、地域社会及び国際社会において発揮できる能力を有する人材
	先進工学科	先進工学科の人材育成の目的について、次の各号に定める。 (1) 専門分野の基礎知識を体系的に修得すると共に、複数分野の融合領域を把握することによる、イノベーション創出のための基盤的な理解力、創造的試行力を有する人材を育成する。 (2) 高度情報化社会を生き抜くための情報基盤力を有する人材を育成する。 (3) 工学分野全体を把握し、幅広い視野で諸課題に挑戦し問題解決する能力を有する人材を育成する。 (4) 技術者の使命感と倫理観を持って地域社会及び国際社会において活躍し続けるためのコミュニケーション力、デザイン力、実社会における課題解決能力を有する人材を育成する。
	建築学科	建築学科の人材育成の目的について、次の各号に定める。 (1) 人類の建築文化の遺産を継承し、地球環境の保全に配慮しながら、建築空間と生活環境の創造に貢献できる人材を育成する。

農学部		<p>南九州という多様な自然環境と生物資源に恵まれた地域の特性を活かし、フィールド等での実践的な教育を重視し、豊かな人間性と広い視野、応用・実践能力、国際性を備えた、農林業、食品産業等及び食住農関連分野の技術者・指導者などを育成するために、農業生産科学科、食料生命科学科及び農林環境科学科を置き、その設置目的を定める。</p>
	農業生産科学科	<p>農業生産における動植物の育種、栽培や飼養管理、農畜産物の利活用に関する知識と技術を身につけ、高品質な食材の安定供給や付加価値の高い農畜産物の創出に貢献できる人材を育成するために、次の教育コースを置く。</p> <p>○応用植物科学コース：東アジアに位置する南国の温暖な気候を活かした農・園芸作物生産のための基礎知識・技術・理論の習得を通して、実践的で応用力を備えた人材を養成するために、多様な栽培方法や病害虫駆除法、また、植物の遺伝的改良について深く学び、専門的知見を向上させる。さらに、地球温暖化等の環境の変化に起因する様々な農業生産上の問題を解決するために、指導的役割を果たし得る広い視野と国際性を持った人材を養成する。</p> <p>○畜産科学コース：日本有数の畜産地帯である南九州において、家畜の繁殖、改良、行動・飼養管理、生態機構、栄養生理、畜産物利用等に関する教育を行い、効率的で持続可能な家畜の生産から安全・安心で付加価値の高い畜産物の開発に関する知識と技術を備えつつ、畜産学の進歩、地域農業の振興、国産畜産物の競争力強化に貢献できる人材を育成する。</p> <p>○食料農業経済学コース：グローバル化が進む食料・農業・農村の問題について、社会科学的な手法による実践的な教育を行い、食料・農業問題、地域振興及びアグリビジネスに関する高度な知識を備えた地域リーダー、政策立案者、アグリビジネス従事者を育成する。食料・農業・農村政策、農産物貿易、農産物流通、アグリビジネス、農業経営管理、食の安全、及び農村環境保全などについて社会科学的な方法で教育する。</p>
	食料生命科学科	<p>食品の安全確保、食品の栄養生理・機能と健康との関わり、微生物をはじめ生物機能の利用に関する知識と技術を身につけ、食に関係する分野及び地域産業としての特色のある焼酎・発酵食品産業で活躍できる人材を育成するために、次の教育コースを置く。</p> <p>○食品機能科学コース：「食・健康・豊かさ」の視点から、生命現象の理解、生物機能の利用、食品の栄養生理・機能の解明、機能性食品の開発に関わる基礎と応用の教育を行い、多様化するバイオサイエンスやフードサイエンスの新時代に適応できる人材を養成する。</p> <p>○食環境制御科学コース：人間にとって有用かつ健全な農産物の生産から消費に至る供給プロセスにおける食の安全確保を目指して生産環境、栽培過程、保蔵・加工・流通、及び品質・安全に関する科学的な知識と技術を有し、食料生産、食品加工・製造、食品衛生管理、農業資材開発などの分野で活躍できる人材を養成する。</p> <p>○焼酎発酵・微生物科学コース：焼酎などの伝統的発酵食品及びさまざまな微生物に関連した基礎から応用にわたる広範囲な知識と技術の習得により、発酵食品をはじめとする微生物の利活用分野における技術を継承し、かつ新技術開発のリーダーとなる人材を養成する。</p>
	農林環境科学科	<p>地域農林資源の利活用及び森林や農地の保全と防災に関する知識と技術を身につけ、自然と調和した農林業生産の基盤づくり及び農山村の振興や生活環境の維持と創出に貢献できる人材を育成するために、次の教育コースを置く。</p> <p>○森林科学コース：暖帯林から亜熱帯林の森林生態系に関する理解を深め、国内有数の木材供給基地である南九州の森林資源の循環的利用と森林や山地を中心とする国土保全のための計画・管理に関する知識と能力を持った人材を育成する。</p> <p>○地域環境システム学コース：地域資源の活用や管理、地域環境の整備や修復及び地域防災に関する情報の発信等に関する基礎的な知識と論理を修得し、農業生産や豊かな地域環境創出に関わる技術をもった人材を養成する。</p> <p>○スマート農学コース：人口減少社会における地方創生に向けた農林業を思考し、農林業のDXやグローバル化を推進する人材を育成するため、ICTやIoTなどの先進技術を活用した農林産物の生産・流通・加工のバリューチェーン型教育を行います。</p>
水産学部		<p>広く知識を授けるとともに深く水産学の学術を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、もって学術文化の向上に寄与する有為な人材を育成することを目的とする。</p>
	水産学科	<p>鹿児島から東南アジア・南太平洋を含む水圏をフィールドとして、水産資源の持続的生産とその合理的利用及び水圏環境の保全・管理の分野の専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画し、地域社会と国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材を育成し、社会に送り出すことを目指すものとする。</p>
	国際食料資源学特別コース	<p>東南アジア・南太平洋・アフリカを中心とした国際社会を対象として、食料資源の持続的生産とその合理的利用の分野の専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画し、国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材を育成し、社会に送り出すことを目指すものとする。</p>
共同獣医学部		<p>国際水準の獣医学教育を体系的に創出・実践するとともに、学際協力により深い知識と高度な技術を備えた専門性の高い獣医師を養成し、幅広い見識と倫理観をもつて人間社会の質的向上に貢献できる能力を培い、問題解決能力と自己資質を向上させる能力を涵養することで、地域に根ざすとともに、社会のニーズに対応した人間地球社会を俯瞰できる人材を輩出することを教育の理念とし、次に掲げる人材を養成することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 豊かな人間性と獣医師としての正しい倫理観を持ち、行動規範に従い職務を遂行できる能力 (2) 獣医学を基礎とした動物生命科学研究を実践するための探究心を持ち、問題解決できる能力 (3) 動物感染症に関する基礎知識を持ち、その制圧に寄与できる能力 (4) 高度な動物医療に関する基礎知識を持ち、適切に実践できる能力 (5) 畜産資源に関する基礎知識を持ち、その安定供給と安全性確保に資する能力 (6) 国際社会と地域社会に貢献できる能力